

スクリプトを削除する方法

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[削除スクリプト](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、スクリプトを削除するための Script Editor ユーティリティの使用方法を示します。

[前提条件](#)

[要件](#)

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco Intelligent Contact Management (ICM)
- Admin Workstation (AW) アプリケーション

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- ICM ソフトウェアリリース 4.6.2 およびそれ以降

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

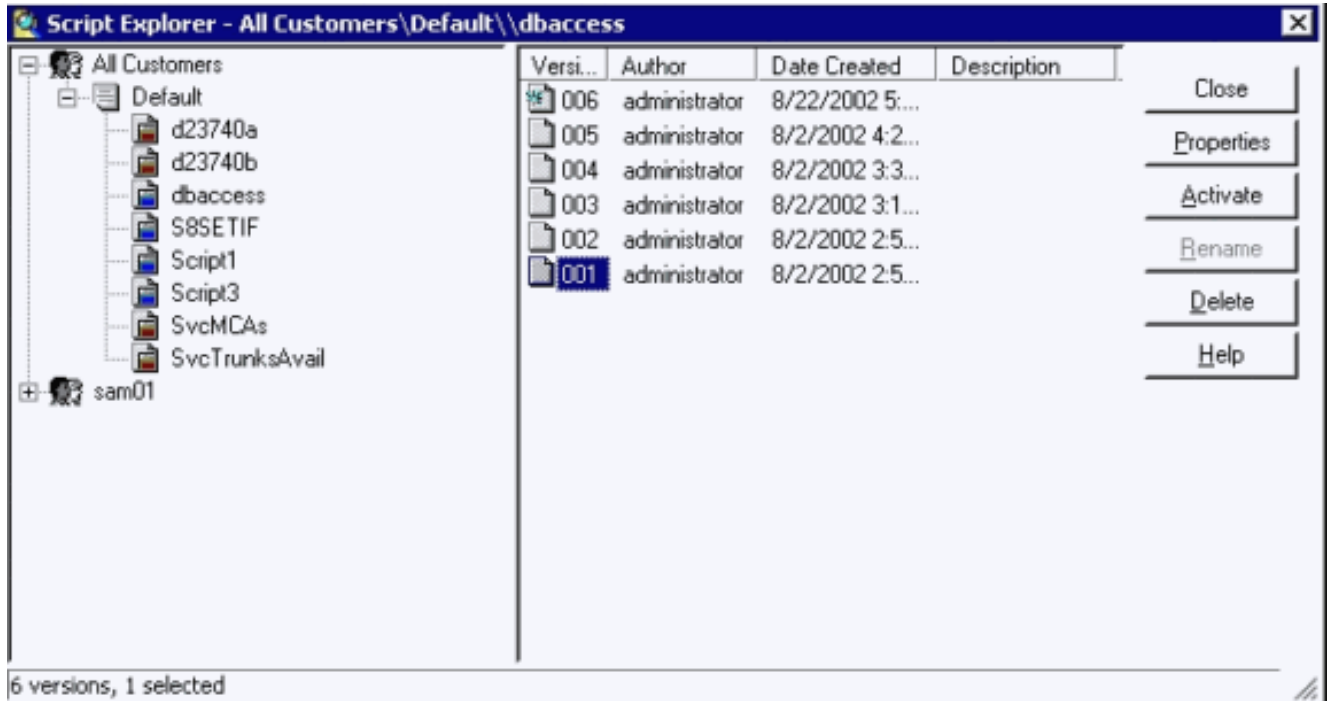
[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

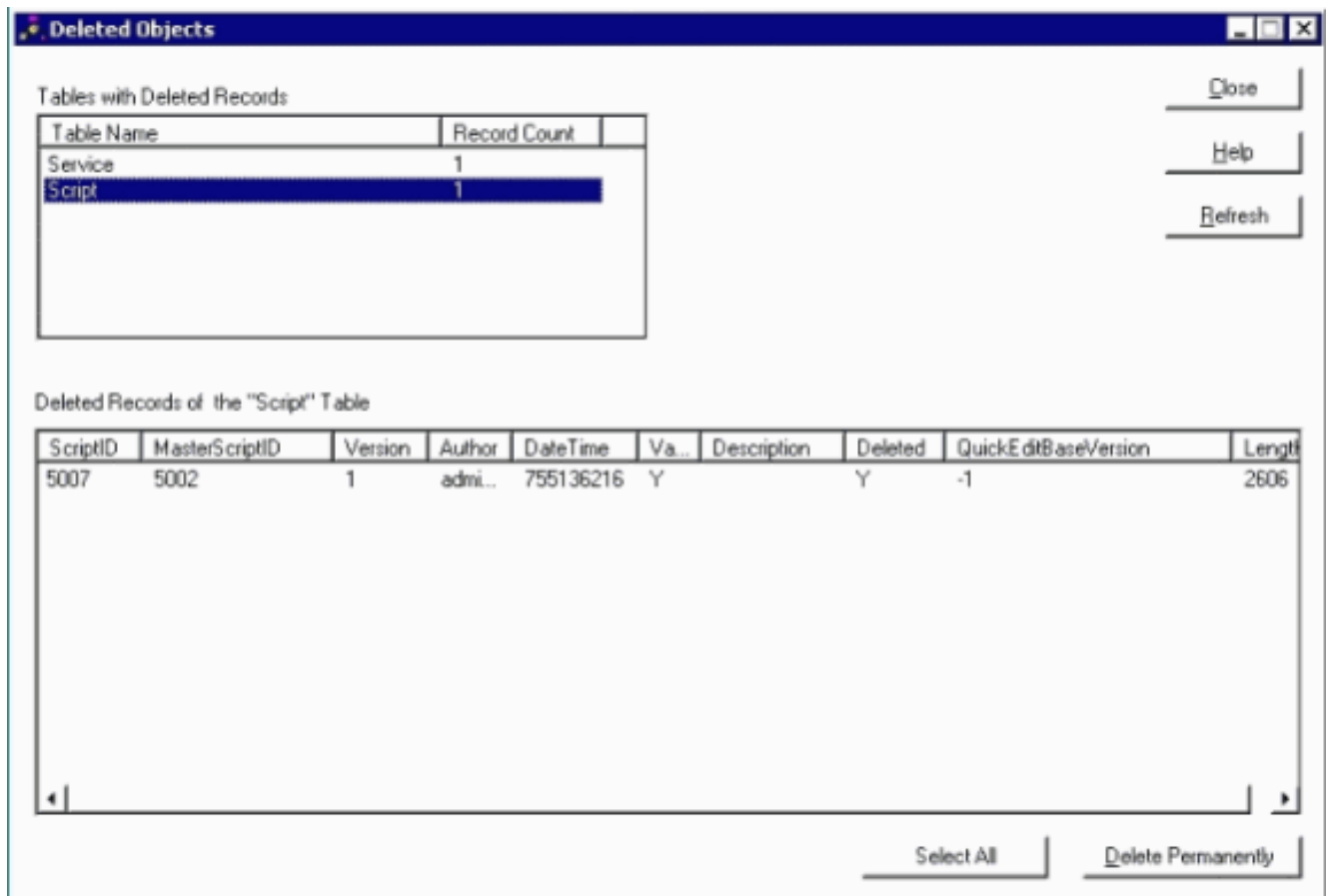
[スクリプトを削除して下さい](#)

次の手順を実行します。

1. AW、ICM AW グループからの開いたスクリプト エディタ。
2. メニュー・バーで File > Script Explorer の順に選択するか、または主要なツールバーで『Script Explorer』をクリックして下さい。Script Explorer ダイアログボックスは開きます。スクリプトは顧客および企業体によって、ように [図 1](#) 示しますリストされています。 **図 1 -スクリプト エクスプローラー**



3. スクリプトおよび適切なバージョンを選択して下さい。
4. [Delete] をクリックします。
5. 望ましいバージョンを削除した後『Close』をクリックして下さい。注: これらの操作は永久にスクリプトを削除しません。完全なステップ 6 ~ 11 永久にスクリプトを削除するため。
6. ICM AW からのコンフィギュレーションマネージャを開き、ドロップダウンメニューから『Configure ICM』を選択して下さい。注: ICM ソフトウェアリリース 4.5 およびそれ以降のための ICM/ICR AW グループから『Configure ICM/ICR』を選択して下さい。
7. >削除済みオブジェクト『管理』を選択して下さい。ウィンドウは [図 2](#) 現われます。 **図 2 -削除済みオブジェクト**



- 削除されたレコード領域の表で『Script』を選択して下さい。
- 「スクリプト」テーブル面積の削除されたレコードのスクリプトの名前を選択して下さい。
- 『Delete Permanently』をクリックして下さい。
- プログラムを終了して下さい。

関連情報

- [スクリプト管理](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)